桶川市長

市政報告レポート

発行-

小野かつのり後援会

〒 363-0009 桶川市坂田東3-8-5 TEL 048 - 729 - 1666 FAX 048-728-1151

討議資料

駅東ロエレベー いよいよ設置・稼働(令和元年7月14日)

市民の皆様から長年に渡りご要望をいただい ておりました、駅東口エレベーターが、去る7月 14日より共用開始となりました。

この度設置されたエレベーターは16人乗りで、 傷病者等搬送に使用するストレッチャーにも対応 しており、また、乗り口と降り口が反対になる貫 通式を採用しているため、車椅子の方でも向きを 変えずに乗降できます。





エレベーター設置に引き続き、駅自由通路の耐火化改修や床、 階段など、広範囲にわたる駅の改修工事を予定しています。駅 東口広場や駅東口通り線等の整備事業についても、スピード感 をもって着実に進めていきたいと考えています。

▶オケちゃん 目指せゆるキャラ日本一!

ゆるキャラグランプリ2019に、 今年もオケちゃんがエントリーし ています。投票期間は、8/1~ 10/25までで、下記QRコード から初回のみID登録した後、毎 日投票できますので、皆様のご協 力を何卒よろしくお願いします。

ID登録は コチラ →





▶平和を考える10日間事業

桶川市では昭和57年から、広島に原爆が投 下された8月6日から終戦を迎えた8月15日 までの10日間を「平和を考える10日間」と位 置づけ、毎年様々な平和に関する事業を行っ てきました。今年も市民の皆様との協働によ る、各種平和イベントが開催されました。



イザという時に備えて

災害時における協定締結

去る8月2日、大規模災害時において相互に協力し合うことを目的とした防災協定を、株式会社カスミおよび埼玉司法書士会と締結しました。また、ヤフー株式会社とも「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結し、災害時にヤフーサービスを通じ、避難所等の防災情報や避難勧告等の緊急情報の提供等を行うこととなりました。 ※桶川市は、これまでに8つの自治体、28の民間企業・団体等と災害時における協定を既に締結しています。



救援物資の供給、被災者の一時避難場所として店舗の一部を提供する 等『災害時における支援協力に関する協定』を株式会社カスミと締結。



被災者等相談を円滑かつ適切に実施するため、司法書士の派遣、および相続や不動産登記等の被災者相談の無償実施等『災害時における被災者等相談の実施に関する協定』を埼玉司法書士会と締結。

◆ 未来への投資(加納原土地区画整理事業)

加納原土地区画整理事業は、桶川市立加納中学校北側に位置する約6.3haの区域を企業誘致の事業地とするもので、2021年の操業を目指して、現在建築工事が行われております。圏央道のインターチェンジを2つ有するという、恵まれた地の利を活かし、今後も企業誘致に力を入れて取り組んでまいります。



事業の様子

◆よりよい教育環境を目指して(小中学校トイレ改修)

桶川市では、平成29年度から4年間の計画で市内全小中学校のトイレ改修工事に着手。平成30年度は、桶川小、桶川西小(南校舎)、川田谷小(南校舎)、桶川西中の4校の工事が完了しました。今年度は、桶川西小(北校舎)、川田谷小(北校舎)、桶川東小、朝日小、来年度(最終年度)は、日出谷小、桶川中、加納中の工事を計画しています。



◆埼玉中部資源循環組合について

これまで9市町村(東松山市・桶川市・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・ときがわ町・東秩父村)でごみ処理広域化に向けて焼却施設建設を進めてきました「埼玉中部資源循環組合」において、管理者である吉見町長から突然、管理者を辞任するとの表明がありました。これまで事業推進に向けた様々な協議を行ってきましたが、焼却施設の余熱を利用した付帯施設における運営費の負担割合などについて折り合いがつかず、組合解散に向け協議を進めることとなりました。

桶川市としては、構成市町村の意見相違に対し、歩み寄りが図れるような提案等をしながら、事業推進に努めてきましたが、非常に残念であります。今後は、あらゆる可能性を踏まえながら、本市のごみ処理のあり方・方向性について早急に検討してまいります。